



和歌山市立宮北小学校
学校だより 令和7年5月号



めあてをもって「できたの花」を咲かせよう✿



5月に入り、爽やかな風が吹く季節になりました。宮北小学校の校歌3番に「♪むらさきゆれる藤の里～」とありますが、校庭の藤棚に咲いたのはとてもきれいな「白い」藤の花でした。ツツジも一気に色鮮やかなピンクと白の花が開きました。今朝正門でつがいのツバメを見かけました。どこかに巣作りしているんでしょうね。学校の周りを飛び回っていました。

新学年が始まってひと月がたとうとしています。新学期の緊張感はずいぶんやわらぎ、子供たちはのびのび過ごしてい

ます。各教室には、めあてや自己紹介カードなどが掲示され、自分について知らせたり友達のことを知ったりするコミュニケーションの場となっています。

2年生は教室の後ろに「できたの花をさかせよう！」というタイトルで、似顔絵とめあてがはられています。

一人一人のめあてを見せてもらいました。頑張りたい気持ち、やる気パワーが伝わってきます。

「こくごがだいすきになる」

「学校でいちばんけいさんをはやくなりたい」

「ともだちともとなかよくたのしくなりたい」

「できなかったことをできるようになりたい」

・・・いいめあてばかりです。どんな顔して書いたのかなあ・・・笑顔、真剣な顔、緊張した顔など、一人一人の顔が浮かんで声が聞こえるようです。みんなのめあてを見ていたらうれしくなってきました。掲示のタイトル通り「できたの花」を1年間でたくさん咲かせることができるだろうと思いました。

新学期を機に自分の心に引くスタートライン、はじまりのワクワク感。5月がはじまり、本格始動です。こうなりたい！と願う一人一人の子供たちの思いを感じ、見守り、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

学校長 西井恵美子

参観・懇談、家庭訪問ありがとうございました😊



今年度1回目の授業参観・懇談会(4/21)に多数のご出席をいただき、ありがとうございました。新学年の様子はいかがでしたでしょうか。どの教室も落ち着いて学習していました。1年生が入学してきて、進級した2～6年生はなんだか一回り大きくなってお兄さんお姉さんになったように感じます。

また、家庭訪問(4/24～5/2)にもご協力ありがとうございました。ご家庭の様子や聞かせていただいたお話を参考としながら、日々の教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1年生のこくごのじかん📖

毎日各教室を回って、子どもたちの様子に触れるのを楽しみにしているのですが、ある日、1年生の国語の時間で、

あめ あめ きらい ぶう ぶう ぶう

をどんなふうを読むかをみんなで話しているところに出会いました。だれかが「きらいっていつてるから、おこったかんじで読む」と言ったのを受けて、先生が「前に出て、おこった感じで読んでくれる人！」と言いました。すると一人の子がみんなの前に立って、ちよびり身振りを入れながら読んでくれました。すると、「おこった感じやったら、ぶうぶうぶう、よりも、ぐうぐうぐう、のほうがいい！」という声が上がりました。それを聞いて「ぐうぐうぐう、やったらなっているみたいやで」と言う子、それを聞いて「ぐうぐうぐう、やったらおなかすいてるみたいになるで」と言う子一、子どもたちのやりとりで話が続きます。一人一人の感覚や感性がよく表れているな、それを自然に言える雰囲気がいいなと思いました。

みんなで話をした後、全員で声を合わせて読んでいました。きっとみんなで話す前より言葉や絵のイメージが広がり、一人一人読み方が豊かになったことでしょう。みんなで学ぶ楽しさを味わっているなと感じます。

下校時に元気にあいさつしながらにこにこ顔で帰っていく姿もほほえましいです。1年生が笑っていると学校のみんがうれしくなります。